

第5回 西都児湯医療センター施設整備基本構想懇話会

平成 29 年 2 月 20 日（月）午後 7 時から
西都市議会委員会室

1 開会

2 座長あいさつ

3 議事

(1) 第 4 回会議録の確認について

(2) 西都児湯医療センター施設整備基本構想（素案）について

4 閉会

<資料一覧>

- ① 第4回西都児湯医療センター施設整備基本構想懇話会（会議要録） P 1
- ② 西都児湯医療センター施設整備基本構想（素案） 別添

第4回西都児湯医療センター施設整備基本構想懇話会（会議要録）

- 日 時 平成 28 年 12 月 1 日（木）午後 7 時 00 分～午後 8 時 15 分
- 場 所 西都市役所議会委員会室
- 出席者 落合秀信委員、黒木正善委員、田爪淑子委員、橋口 透委員、
櫛山健一委員、倉岡高喜委員、壱岐武利委員、金丸實昭委員、
緒方久己委員、山崎幸雄委員、井上ヒロ子委員、篠原宏旺委員、
牧 久夫委員、伊藤稔郎委員、安藤正治委員、河野定文委員、
那須壽好委員、井上正廣委員、川崎貞生委員、齋杉尾砂子委員、
藤美紀子委員、佐々木玄子委員（欠席委員：3名）

【市役所】

津曲晋也地域医療対策室長、佐藤武志地域医療対策室室長補佐、
森田 裕地域医療対策室主任主事

【西都児湯医療センター】

長田直人理事長、瀨砂亮一副院长、安藤敏和事務局長、
八木 毅事務局次長

【有限責任監査法人トーマツ】

小石原聡子マネージャー
富永武尊シニアコンサルタント・公認会計士

- 傍聴者 1名

■会議経過

- 1 開会
 - 2 座長あいさつ
 - 3 議事
- (1) 第3回会議録の確認について

◎資料1～11ページ

○質疑等（要点筆記）

発言者	内 容
座長	「第3回会議録の確認について」事務局から説明があったが、意見があればお願いしたい。
委員	懇話会で議論している問題については分かるが、この件については議会においても検討している。ここで話しをしてもどこまで取り上げ

	<p>てもらえるのかが全然分からない。議会で検討していながら、懇話会においても議論するというのはどうなのか。議会での検討と懇話会での議論との整合性について、どのように考えているのか、伺いたい。</p>
座長	<p>懇話会での議論が基本構想にどの程度反映されるのかという理解でよろしいか。それと、議会との整合性、その2点について、事務局の回答をお願いしたい。</p>
事務局	<p>懇話会の目的は、委員の皆様の忌憚のない意見を伺って、基本構想に活かしていくというもの。そのような趣旨、目的からして、懇話会でいただいた意見、要望については、市が策定する基本構想に最大限反映したいと考えている。議会については、事務局から基本構想を議会に提示していないので、基本構想について議論するという段階ではない。懇話会でいただいた意見等を参考にして、市で基本構想をとりまとめ、その基本構想を議会に提示して、議会としても審議していただく予定としている。</p>
委員	<p>議会についての質問があったので、事務局の説明に補足したい。平成28年度予算において、基本構想を作ることについては、議会で議決を行っているので、施設整備を行うことについては、議会も同じ意見と考えてもらってよいと思う。救急医療対策調査特別委員会を作って、私が委員長をさせてもらっている。予算関係については、文教厚生常任委員会の方で審議を行っている。救急医療の内容等については、特別委員会で調査を進めているところ。事務局の説明にあったように、基本構想が出来上がれば、当然、議会にも報告があるので、報告を受けて議会は議会なりの意見を申し上げることになると思う。</p>
座長	<p>他に意見はないか。意見が無いようであれば、議事の2番「医療センターからの説明」に進みたいと思う。</p>

(2) 医療センターからの説明

◎資料(別添)「小児救急患者の現状について」

「宮崎県内小児救急医療電話相談平成27年度実績」

○質疑等(要点筆記)

発言者	内 容
座長	<p>只今の説明、意見について、委員の皆様からの意見があれば、お願</p>

	いしたい。
委員	<p>今の説明を聞いて、非常にうれしく思う。私は、絶対に小児科が必要だと思って、(懇話会で) ずっと言い続けて、これだけは絶対に作って欲しいから、(懇話会を) 絶対に休まずに出席しようと思っていた。(小児科を) 診療(科目に係る将来にわたっての検討事項)に入れていただきたいと思っていたので、小児科のことを考えていただいて、本当にうれしく思っている。(小児科の) 医師がいないとか、いろんな事が大変だと思うが、やっぱり言い続けること、ちゃんと伝えることができれば医師も理解していただいて、来ていただけるのではないかと。今後ともその(小児科を新設する) 方向でお願いしたい。</p>
座長	<p>他に意見はないか。</p> <p>私から1点だけ(確認したい)。今の資料の説明を聞いていて、宮崎市夜間急病センター(小児科)の頭部打撲の患者が、年間100人から140人ぐらいいたが、西都地区から受診した患者は0人。これは、小児にも関わらず、医療センターで頭部外傷について対応されていると思われる。今後、このような形で、少しずつでも小児疾患を西都児湯地区で対応できるような体制を作っていく方向で検討していただけるということによろしいか。</p>
医療センター	はい。
座長	<p>続いて、議事の3番目「新病院の診療科目について」、そして4番目「新病院の建設場所について」に進みたい。</p>

(3) 新病院の診療科目について

(4) 新病院の建設場所について

◎資料14～21ページ

○質疑等(要点筆記)

発言者	内 容
座長	<p>事務局から「新病院の診療科目について」、そして「新病院の建設場所について」の説明があったが、(議事を) 分けて意見を伺いたいと思う。まず、最初の「新病院の診療科目について」、現在、医療センターが標榜している診療科に加え、これまでの議論を含め、新たに資料の</p>

	<p>ような診療科が今後必要になってくるんじゃないかというような意見がだされたが、この点について意見、発言等があればお願いしたい。</p>
委員	<p>二次医療の完結を目指すということであれば、脳外科関係、それから将来的には整形外科という話もあったが、そうなればリハビリテーション科が当然必要になってくるかと思うので、当然、考えているとは思いますが、意見として申し上げておきたい。</p>
座長	<p>やはり、(二次医療の) 完結となれば、リハビリテーション科は不可欠だと思う。医療センターで何か考えていることがあればお願いしたい。</p>
医療センター	<p>リハビリと言っても、脳疾患を抱えた患者のリハビリと心臓疾患を抱えた患者のリハビリを考えている。慢性心不全の患者が高齢者に多い。心臓が悪くなった患者で、(身体的には) 復帰したが、これから運動療法で治療するという時に心臓リハビリが必要になる。(心臓リハビリ) をきちっとできる病院を目指して、システム作りを行う必要がある。リハビリの担当者とそれに関わる看護師は、研修を受けける必要があるので、今、研修を受けに行っている。2年後には(心臓リハビリの体制) が整うと考えている。</p>
医療センター	<p>脳卒中のリハビリについては、理学療法士と作業療法士の4名体制なので、今の医療センターの規模であれば十分だと考えている。ただし、将来的に回復期リハビリ病棟を設置することになれば、さらにスタッフを増やしていかなければいけないと思うが、現実的には回復期リハビリ病棟を設置している病院もあるので、その辺りの関連も考えながら、慎重に検討する必要がある。将来的に整形外科も診療に加わることになれば、その辺りについては周辺環境も見ながら最終的に判断していくことになる。</p>
座長	<p>急性期リハビリについては今も行っており、リハビリもスパンが長いので、回復期リハビリについては地域で連携していくという考えでよろしいか。ただし、心臓リハビリについては行っているところがないので、医療センターで担っていく必要があるということで、リハビリテーション科は必要だろうということでもよろしいか。</p>
医療センター	<p>はい。</p>
座長	<p>他に意見はないか。意見が無いようなので、次に説明いただいた「新病院の建設場所について」意見を伺いたい。</p>

	<p>先ほどの説明では、新病院の建設場所を選定するステップとして、その過程についてを主とした説明があり、これまで候補地として（意見が）挙がっていた場所についての話があった。（新病院の建設場所を選定する）ステップでも、候補地でも結構なので、皆様の自由な意見をいただきたい。</p> <p>もう一度、事務局に確認させていただきたいと思うが、今の時点において（新病院の建設場所の）候補地というのは、全くの白紙ということではよろしいか。</p>
事務局	はい。
座長	<p>（白紙）ということなので、どうぞ、自由な意見をお願いしたい。もし、意見を出しにくいようであれば、先ほどの説明があった候補エリアの選出について、第1段階として4つの要件を挙げていたが、このほかにもこういった要件が必要じゃないかなど、そういった意見があればお願いしたい。</p>
委員	<p>私は、前回（の会議で）候補地の陳情について質問をさせていただいたが、白紙という回答をいただいたし、もし前回（医療センターが医療財団当時に）陳情された場所であれば、（自衛隊新田原基地を離発着するジェット機の）飛行コースであることを言ったが、（病院施設を）防音すれば問題ないという説明だった。</p> <p>過去に鹿野田地区の製材所だったと思うが、ジェット機が墜落したことを覚えている。それから、先日、夏前にジェット機の部品の落下の事が（新聞記事に）書いてあった。（落下した部品は）ボルトで、海に落ちたのだらうということだったが。そのような事を考えた時に、どうしても新田原飛行場があるので飛行ルートから離れて、あえてそのリスクを背負った所に（新病院を）建てることはないと思う。</p> <p>場所については、私なりにいろいろと考えても、交通アクセスなど（要件が）書いてありますが、高台の方がいいのではないかと思います。（今までに）水の災害もあり、自然災害というのは本当に考えられないような災害が今起きているので、その辺を含めて考えれば、この西都には高台があるので、その辺りが良いのではないかと私は思っている。</p>
座長	<p>病院の環境について、危険性が無く、快適に療養ができる場所が良いのではないかと。意見として、航空自衛隊があるので、飛行ルートから外れて、災害にも強い高台についても、候補に入れた方が良いの</p>

	<p>ではないかという意見だったと思う。</p> <p>他に意見はないか。自由な意見で良いので。</p>
委員	<p>全くの白紙というところから考えれば、先ほどの地図で説明のあった、所謂、医療財団当時の候補地として赤池地区の2万4千㎡の土地があるが、先ほど委員が言われたとおり（自衛隊新田原基地の）ジェット機の（飛行）コースの真下になる。騒音と同時に墜落の可能性もあるとの意見だったが、過去、都於郡地区にジェット機が墜落したこともあるし、幸い森の中であったが燃料タンクを落としたこともある。その事を考えた時に（ジェット機の飛行ルートから）離れた方が良い気が私もしている。</p> <p>前回（の会議でも意見が）でた食の拠点の建設予定地の四日市地区は、（食の拠点の事業に関しては、）今、凍結ということになっているが、この土地の1万4千㎡は市が確保している。面積的には狭いと思うが、地図を見るとあと7千㎡ぐらいいは買い増しができるのではないかと思う。一床あたりの面積を80㎡から90㎡という形で計算すると、7千㎡から8千㎡の広さになる。4階建てぐらいで考えれば、2千㎡ぐらいの建築面積で済むと思う。そうすれば、（敷地面積が）2万㎡あれば、今の土地の4倍の広さになるので、将来的な建て増しの可能性を含めた予備も含めてなんとかなるような気がする。ただし、ハザードマップを見ると河川が氾濫した場合の予想が（この地域は）1mから2mになるので、1mから2mの盛土をすれば可能性としてはあるのではないかと思う。</p> <p>もうひとつは、妻地区が西都の人口の半分を占めており、穂北地区と合わせると3分の2になることから、市街地により近い方が良いのではないかということで、宮崎県立産業専門校からちょっと南の辺りに田園地帯があるが、その辺りはひとつどうかという気もする。ただし、それこそ土地の確保とか、そういった問題もでてくるので早急にどうこうできるものではないが、考え方（のひとつ）としてはあるのではないかという気がしている。</p>
座長	<p>只今、意見をいただいたが、やはり飛行ルートから外れた方がよいだろうという意見だったと思う。また、利便性を考えると市街地に近い方が良いのではないかという意見だったと思う。他に意見があればお願いしたい。</p> <p>医療センター側に伺いたいですが、土地の面積としては大体、最低どれ</p>

	くらいあった方が良いのか。今、意見をいただいたので、大体でも結構なので、最低これくらいは必要だという目安があればお願いしたい。
センター	災害拠点病院として、ヘリポートが必要になってくるが、ヘリポートを下に造る（場合の）ことも考えれば、2万㎡は必要じゃないかと現時点では思っている。
座長	皆様方から意見があれば、お願いしたい。
委員	（新病院の建設場所としては）建設できる一番良い所が一番良いわけだが、その前に、現在の医療センターの耐震診断を1回はしていた方が良くと思う。耐震診断を早めにやっとして、並行して（新病院の建設）場所を決めていく方が良いのではないかと感じる。
座長	候補地選定と同時に今の医療センターの耐震診断もした方が良くのではないかとのことだが、現状がどうなのか、もし状況が分かればお願いしたい。
事務局	現在、耐震診断を行っている最中で、早ければ来年1月中には診断結果がでるのではないかと考えている。
座長	その他、候補地を考える上で、こういった要素も入れていた方が良くいだろうという意見があればお願いしたい。
委員	今度、西都商業高校と妻高等学校が統合される。その後の西都商業高校の跡地がどのように扱われるかは分からないが、あの土地こそ相当の広さがあるので、（新病院の建設場所として）検討する必要があると思う。位置としても中心地に近く、道路等の設備も良いと思うので、全部含めて検討してほしいと思う。
座長	今の意見の今後の検討に入れていただくということについて、事務局から何かあるか。
事務局	西都商業高校と妻高等学校が統合して、西都商業高等学校の土地が空くということだが、あれは県の所有の土地であり、今後どのような扱い方をされるのかというところまでは、事務局としては把握していない。候補地のひとつとしては考えられるものと思うので、検討していきたいと思う。
座長	いろいろと意見が出たが、まだ言い足りないという方がいれば、またご意見があればお願いしたい。
委員	この懇話会は第4回目になるようであるが、ちょっと話を聞いていると、どんどん病院を造りますよという方向に進んでいるように私は思う。一番大事なことは、病院を建設する為には、どのくらいの建

	<p>設費用が必要で、どのようにすれば医師が確保できるということを示すこと。全体の予算である建設費が全然話しにでてこないわけだが、大まかに小林市がこうでしたよという話しだけで、全体に西都市が造る場合には、これだけの建設費で建設して、病院の内容としてはこういう医療が必要です、土地はこれだけかかりますよというような具体的なことは全然（議論として）でてこない。これは、ずっと先の話なのか、もうすぐに（病院を）造るのか、この点を確認したい。</p>
座長	<p>現段階では、診療科も決まっていなくて、（病院施設の）構造も決まっていなくて、今の時点で具体的な予算（を提示する）というのも難しいと思うが、現時点で何かあれば（説明を）お願いしたい。</p>
事務局	<p>建設場所や病院の規模で、事業費が大きく変動することから、（現段階においては、）具体的な話を提示することができない状況にある。（懇話会において）いただいた意見については、できるだけ早期に地域医療体制整備の為に（医療センターの）施設整備が必要だという市の方針は変わらないので、基本構想が出来上がれば、診療科目や病院の規模の決定、建設場所の設定について、直ちに着手していく予定である。</p>
座長	<p>私からひとつお訊きしたい。この懇話会の意見を踏まえて基本構想を作成することになると思うが、その際にはこの懇話会に諮るという理解でよいか。基本構想がある程度まとまれば、今の意見のような大枠な予算がどの程度見込まれるなど、そういった概略として提示することは可能なのか。若しくは、具体的にそこまでは、基本構想では提示できないという理解になるのか。</p>
事務局	<p>具体的な事業費までは、基本構想段階においては提示できないものと考えている。</p>
座長	<p>そのようなことだが、よろしいか。</p>
委員	<p>分かった。もう一点として、（地元）医師会との相談は、今、相談しているとの説明だったが、今、どのような形で進んでいるのか。（懇話会が立ち上がって）もう3カ月が経過している。（地元医師会とは）どのような交渉をされて、どのような形でここまできたのか、その点を伺いたい。</p>
座長	<p>事務局からお願いしたい。</p>
事務局	<p>当初は、この懇話会に医師会としても参加していただきたいと交渉してきた。現在の状況としては、懇話会の会議結果を、毎回、医師会長に報告して、ご意見を頂くとまではいかないが、話しをさせていた</p>

	<p>だいている。また、この懇話会の資料については、医師会の事務局に常設で置いており、医師会の会員の皆様には自由に閲覧できる状況にしている。</p> <p>今すぐにといいわけではないが、また、懇話会においてかどうかは分からないが、今後は、(西都児湯医療センターの) 施設整備に関して、(地元) 医師会としてご協力いただけることについては確認している段階である。</p>
座長	意見をいただいてから、その後も定期的に医師会の方には、協力を要請しているという理解でよいか。
事務局	はい。
座長	他に意見はないか。 医療センターから何かあれば、お願いしたい。
医療センター	<p>(今回の懇話会の資料として) ひとつだけ気になったのは、新病院に求められる役割の中で、救急(医療)の事ばかりが取り上げられている印象がちょっとある。</p> <p>現在、内科医が3人いるが、彼らは救急患者を診る事と同時に、自分達が専門とする循環器であるとか、呼吸器であるとか、そういう領域(の症状・病状)の事で外来の患者をきちっと診たいという気持ちが強い。一次救急といって、私達が午後7時から午後11まで、普通に扉を開けて診療を行っている。そして、午後11時から翌朝7時までは、看護師が電話対応を行い、救急車で搬送されてくる患者については、拒まずに診るという対応をしているが、それだけで良いとは考えていない。一般に循環器や呼吸器、脳疾患で困っている人たちの外来と入院患者の治療をきっちりとやりたいということで、そのような医療を私達は患者に提供していきたいという意気込みを持っているので、新病院に求められる役割というのは、救急ばかりというイメージが強いが、それだけじゃない。そういった仕事を私達にはさせてほしいと思っているし、その為には、内科医も当然増やしていかないとできない。</p> <p>また、地方独立行政法人になったので、医者が集まってくる為の何らかのメッセージを大学に対しても発信していきたいと思っている。公的な病院になったわけだから、(新病院建設に係る医療センターの) あり方検討会みたいなものをつくって、大学の先生方や医師会、当然県の医師会も入ってもらって、この自治体病院がどうして必要だった</p>

	<p>のか、どんな方向でやっていけばよいのかということについて、大学や大きな医療を行っているところに認知していただきたいと思っており、そういう仕事をしていかなければいけないと考えている。</p>
座長	<p>もし意見がないようであれば、そろそろ会をしめさせていたいただきたいと思う。</p> <p>本日は、委員の皆様方から貴重な意見をいただいた。4回にわたる懇話会において、医療センターの施設整備について、皆様方の一定の理解とそれぞれの立場から多方面にわたって様々な意見をいただいたところである。今回の会議を一区切りとして、懇話会でいただいた意見を反映させる形で、一旦、事務局の方で基本構想の素案をとりまとめてもらおうこととしたいが、よろしいか。</p>
	<p>「はい」との声</p>
座長	<p>それでは、事務局の方で基本構想のとりまとめをお願いしたいが、よろしいか。</p>
事務局	<p>今後は、事務局の方で懇話会でいただいた意見を反映させる形で基本構想の素案を作成していきたいと思う。市役所内の基本構想策定検討委員会において、最終的な基本構想素案をとりまとめていく。素案が出来上がった段階において、再度、懇話会において委員の皆様にご諮りたいと考えているので、その際には改めて協力をお願いしたい。</p>
座長	<p>それでは、本日の議事を終了する。</p>

(5) その他

※次回開催日時は、基本構想素案がとりまとめ次第、日時を決定して改めて各委員に通知することとし、事務局のスケジュールとしては2月頃を予定している旨を報告しました。

4 閉会